



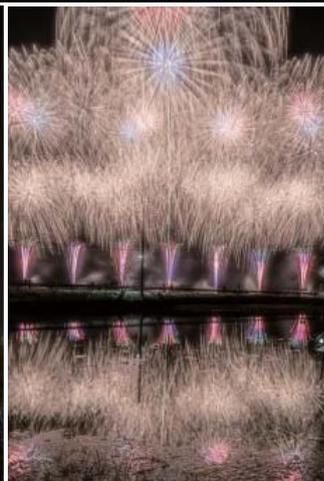
志賀花火 SPARK BEAT 2023

志賀の夜空に大輪の花火と太鼓の響き

3月25日(土)、志賀町商工会青年部主催の「志賀花火大会 SPARK BEAT2023」が道の駅ころ柿の里しか周辺で開催されました。町伝統の太鼓の音色が響く夜空に、約710発の花火が打ち上げられました。

二部構成で、町太鼓団体「志賀天友太鼓」や「志賀豊年力太鼓保存会」などが演奏を披露。花火は、約300mに渡ってスターマインや7号玉など大輪の花火が次々と打ち上げられました。開催3年目の今年は、くじびきや焼きそばなどの出店も並び、駐車場が満車になる盛況振りでした。

青年部の上杉幸司部長は「193の事業所や個人の方々のおかげで無事開催することができました。ありがとうございました。来年はもっといいものにして町を活性化していきたいです」と話しました。



▶ ハッシュタグ

「#志賀花火大会」を付けてInstagramに投稿するフォトコンテストを開催。右記写真が入賞しました。

いつまでもお元気で、町内24番目の長寿

末吉の稲岡三代子さんが100歳



稲岡三代子さん(施設で撮影)

3月5日(日)に100歳を迎えた末吉の稲岡三代子さんが、家族や入所する施設の職員から祝福を受けました。

町からのお祝い状と祝金は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、直接本人への贈呈は出来ませんでしたが、後日家族を通して渡しました。

家族のはるえさんは「歌うことが大好きで、面倒見が良く、昔は婦人会などで活発に活動していました。100歳の誕生日に家族で面会に行き、ガラス越しですが誕生日の歌を歌ってお祝いしました。ひ孫と対面すると、表情が緩み、目を大きく開けて喜んでいました」と話しました。

【施設職員からメッセージ】

お菓子とコーラが大好きで若々しい稲岡さん。どんな時でも「ありがとうございます」を言ってくれ、その言葉に幸せをもらっています。これからも長生きしていつまでも元気で、笑顔の素敵なおばあちゃんてください。

志賀町に就業する53人の新社会人が決意新た

令和5年新社会人歓迎の集い

4月19日(水)、志賀町・志賀町商工会・富来商工会は、いこいの村能登半島で新社会人歓迎の集いを開催しました。町内の19事業所に就職した新社会人53人のうち34人が出席し、決意を新たにしました。

式典では南哲郎志賀町商工会長、小泉町長、寺岡才治富来商工会長があいさつし、小池田直人七尾公共職業安定所長が激励しました。石川サンケン(株)の宮森祐介さんが「日々の努力を成長の糧と信じ、自分の選んだ会社で一日でも早く仕事を覚え、会社や地域の発展に貢献していきたい」と謝辞を述べました。



謝辞を述べる石川サンケン(株)の宮森さん(右)



(左から)小泉町長、西方さん、土田さん、山本さん、野田巖総務省石川行政評価事務所長

志賀町の行政相談委員

行政相談委員委嘱状交付と感謝状贈呈

4月6日(木)、役場本庁舎で行政相談委員委嘱状交付式が行われ、新たに山本正人さん(広地)が委員に委嘱され、土田善博さん(館)は引き続き委員に委嘱されました。

また、平成17年4月から令和5年3月までの18年間、行政相談委員を務めた西方政章さん(中山)に総務大臣から感謝状が贈られました。

行政相談委員は、国や特殊法人など(年金事務所や郵便局)の仕事などへの苦情や意見・要望を受け付け、相談者と関係行政機関の間に立ち、公正・中立の立場からその解決を図るなど、よりよい行政運営の実現を目指します。

志賀町の人権擁護委員

人権擁護委員感謝状贈呈と委嘱状交付

4月6日(木)、人権擁護委員を2期6年務めた三好つる江さん(大島)に法務大臣感謝状が贈られました。また、5期目となる村上栄子さん(富来領家町)と新任の福田豊治さん(代田)に委嘱状が手渡されました。

徳山武志七尾人権擁護委員協議会羽咋北部会長も同席しました。

法務大臣から委嘱される人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権に関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。



(左から)小泉町長、村上さん、三好さん、福田さん、徳山部会長



小泉町長にドローンを手渡す(協)アイテックの紺谷理事④

小学生がプログラミングの授業で活用

(協) アイテックがドローン 56 台を寄贈

かほく市で外国人技能実習生を受け入れる団体「協同組合アイテック」は、2年前に購入した室内用小型ドローン56台を有効活用してほしいと町に寄贈しました。

アイテックの紺谷裕一理事長が、4月7日(金)に小泉町長を訪ね手渡しました。

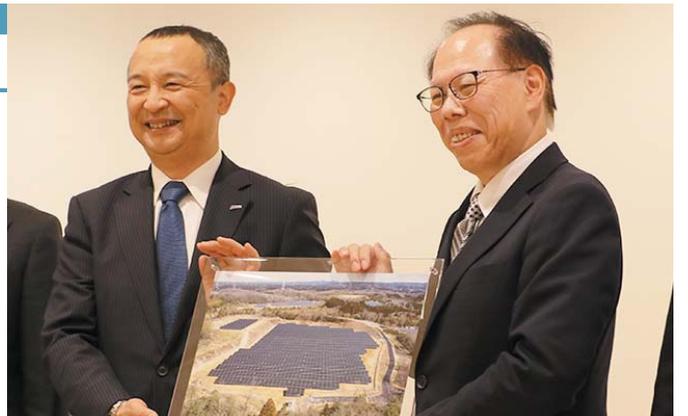
アイテックは、矢蔵谷で実習生向けの研修施設を運営しているほか、今年中に末吉で新たな施設を建設するなど、町との関係を深めています。寄贈されたドローンは、町内小学校に配布され、5、6年生を対象としたプログラミングの授業で活用されます。

石川サンケン(株)が太陽光パネル設置完成セレモニー

大規模なオンサイトPPA太陽光発電完成

3月31日(金)、半導体部品を製造している石川サンケン(株)で、太陽光発電完成記念セレモニーがありました。

堀松工場と能登町にある能登工場の2工場で合計8,130枚の太陽光パネルを設置。初期費用ゼロで太陽光パネルを取り付ける北陸電力グループの「第三者所有(PPA)モデル」として、4月1日から稼働しています。最大発電容量は4,392kwで、年間2,364tの二酸化炭素削減を見込んでいます。石川サンケン(株)の岩田誠社長、小泉勝町長、サンケン電気(株)の高橋広社長のあいさつの後、社員がドローンを操縦し、太陽光パネルを上空から中継しました。



北陸電力ビズ・エナジーソリューション(株)の折谷大介常務取締役④から記念品を受け取る石川サンケン(株)の岩田代表取締役社長④